Ⅰ 指導事例

小学校国語

課題1 要点の聞き取り

平成22年度　県の通過率 54.9% ➡ 平成23年度 69.3%

問題 ― 3

これから、放送を聞いて答える問題を行います。
広島小学校では、「あいさつ運動」を行うことになりました。児童会が、「あいさつ運動」について、校内放送をしています。あなたは、五年一組の学級委員のつもりで、大事な事をメモしながら聞きましょう。放送は、二回繰り返します。

「あいさつ運動」について、児童会が説明し忘れていることがあります。それは何ですか。書きましょう。

＜経年比較＞

年度	通過率（%）
平成23年度	69.3
平成22年度	54.9
平成21年度	64.2
平成20年度	54.1
平成19年度	45.5

聞き取った内容の中で，情報が不足している部分を捉える力の定着が不十分である。
これまでの誤答の状況から，目的に応じてメモを取ることや，メモから自分に必要な情報を取り出すことが苦手な傾向がみられる。

誤答と無解答		割合（%）
1	日時	1.9
2	担当者と場所	1.8
3	準備するもの	1.0
4	理由	0.4
5	上記以外	17.8
6	無解答	7.8

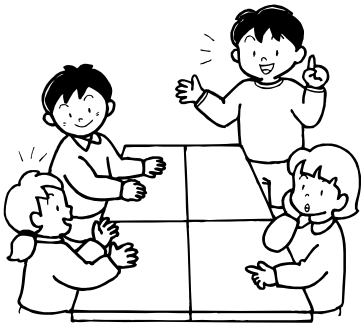
誤答5・無解答

「あいさつ運動」の目標，理由，日時，担当者と場所，準備するものといった，話のまとまりをとらえて聞くことができていない。

【25.6%】

昨年度の報告書で示した指導改善のポイント

○　各学校で，誤答だった児童のメモを分析し，メモの取り方にどのような課題があるのかを把握しましょう。
○　基本的なメモの取り方（短い言葉で書く，箇条書きで書く，「はじめに」，「次に」といった順序を示す言葉に注意して聞く等）を教えましょう。



○　「何のために聞くのか」という目的によって，聞き手にとっての「話の中心」は変わってきます。児童に聞くことの目的を意識させた上で，何を聞き取らなければいけないのかを考えさせながら聞かせ，必要なことだけをメモに取らせましょう。
　メモを取った後は，重要な順に番号を付けて整理する，関連する内容を線で囲んだり，線や矢印で結んだりする等，メモを修正させながら話の内容を整理させましょう。

＜事例紹介＞尾道市立久保小学校

ポイント

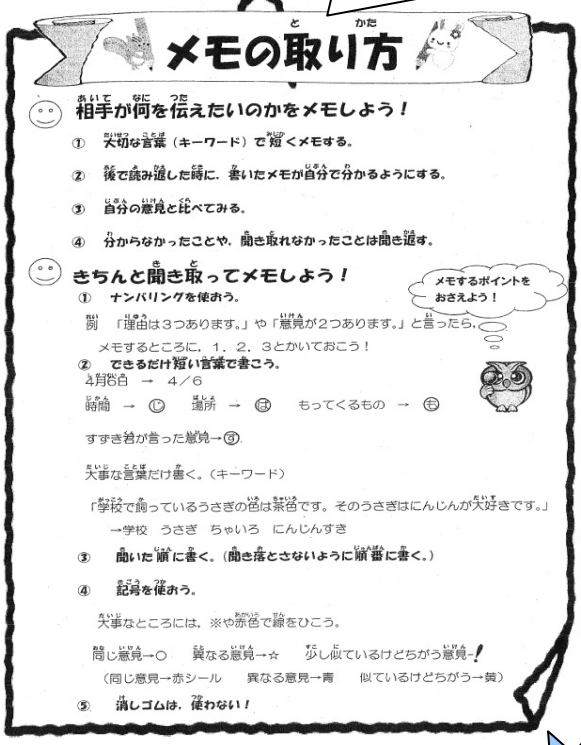
○　**基本的なメモの取り方**を指導する。

○　**目的を意識させた上で**，必要な事柄を書きながら聞く。メモを取った後は，**分かりやすいように整理**する。

○　**日常的に**，メモを取りながら話合いをしたり，聞き取ったことを書いたりする活動を取り入れる。

第４学年

基本的なメモの取り方を指導する



話を聞いてメモを取ることが苦手な児童への手立ての例

① 聞く意欲をもたせる
「これからふしぎなお話をします。」

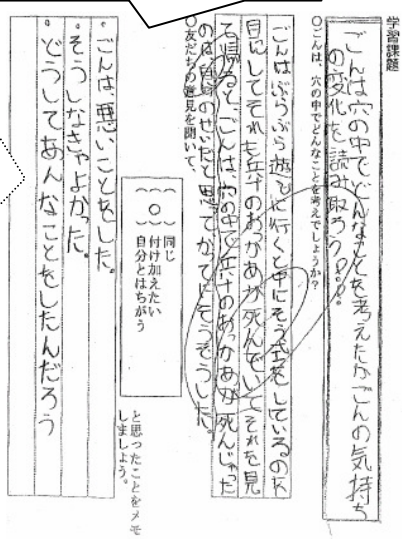
② 整理してゆっくり話して聞かせる
「○○のひみつを３つお話します。」

③ メモを見直したり比べたりさせる
「３つのひみつと聞いたら，先に１・２・３と書いておいたらいいね。」
「ひみつが知りたいんだから，この言葉は書かなくても分かるね。」

④ メモを取るよさを実感させる
「メモがあると友だちに伝えやすいね。」

聞き手とともに話し手も育てましょう

目的に応じてメモを取りながら話合いをする



友だちの意見を聞いて自分の意見と違うところを聞き取るという目的を明確にし、付け加えたいことをメモする

◆　この事例以外にも，成果を上げている学校の取組として，次のような指導があります。

○ スピーチを聞くときに，メモに要点を書かせ，質問や感想を述べさせる。

○ 聞いた話の内容をワークシートに書かせ，それを教師が評価する。

○ 継続的に，聞き取ったことを書く活動（聴写）を行う。

○ 取らせたメモを基にして発言させる。